

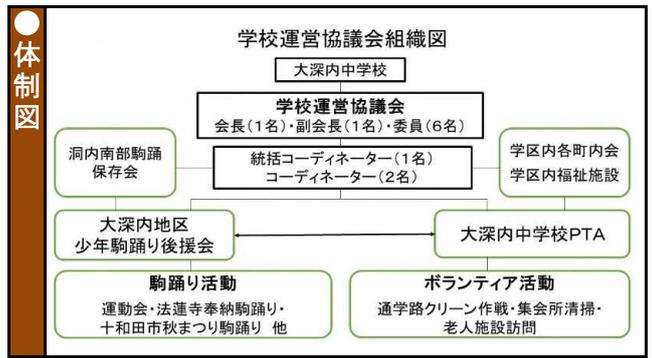
こんな活動です

# 地域に貢献する学校日本一を目指して ～ 駒踊りとボランティア活動を通して～

青森県十和田市	●活動名 大深内中学校学校運営協議会	●関係する学校名 十和田市立大深内中学校
---------	-----------------------	-------------------------

協働活動開始年度	平成 28 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	3 学級	のべ児童・生徒数	36 人
活動区分	—	地域課題解決学習		地域人材育成			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数		配置人数		
	1人				2人		
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無		
	平成28年4月1日		32人				
参考URL	—						

●連絡先	十和田市教育委員会 指導課	☎ 0176-23-5111
------	---------------	----------------



●活動の概要・経緯

○地域の伝統芸能である「南部駒踊り」を、地域の駒踊り保存会の協力と指導を仰ぎながら、本校の教育活動に取り入れて今年度で49年目を迎える。十和田市の秋まつりへの駒踊りの出演や老人施設訪問での駒踊り披露など、幅広く活動している。

○学区内の小学校の学校運営協議会と連携しながら、学区内の清掃ボランティアを実施したり、各町内会と連携して各集会所等の清掃ボランティアも実施している。

## ● 活動の特徴・工夫

### 【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①本校の駒踊り活動を支援いただいた駒踊り保存会、大深内地区少年駒踊り後援会の協力により、伝統芸能を長年にわたり継承している。
- ②地域の理解と協力を得るため、学校だより等を学区内の全世帯に配布している。配布については保護者が各町内会に自主的に働きかけている。
- ③駒踊りや各ボランティア活動の原資として、町内会の全世帯から出資をいただいている。

### 【実施に当たっての工夫】

活動の推進について、年3回開催する学校運営協議会での意見交換を大切に、教育活動のねらいと地域の求める姿を調整したり、相互理解しながら活動を計画・立案している。また、人口減少などの地域が抱える問題点や各団体・町内会の情報交換を密に行いながら、地域課題解決のための取組を模索している。

駒踊りやボランティア、各町内会への連絡・調整については、保存会会長及び学校運営協議会委員1名がコーディネーターとなり、日程や参加人数のとりまとめ、必要物品の手配を行うことで、教職員の負担を軽減している。また、地域の代表者が学校の教育活動と地域をコーディネートすることで、学校と地域の相互理解や協力体制が深まっている。

## ● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

十和田市秋まつりへの出演で、本校の活動が広く市民に周知されるとともに、他市町村の老人施設での駒踊り披露により十和田市の伝統芸能についての宣伝効果をもたらしている。また、活動に保存会等の協力を得ることで本校生徒と地域の大人との繋がりが深まり、地域による生徒の見守り活動の一助としても機能している。

学区内小学校や各町内会、老人施設等と連携したボランティア活動を実施することで、郷土理解が深まるとともに郷土愛が育まれ、生徒の地域に貢献しようとする意欲・態度の高まりが見られている。また、ボランティア活動を通じた各地域の人々との交流から、各町内会が中学生の活動を広報で紹介するなど、地域の活性化に貢献できている。

## ● その他

- 左:五所川原市の特別養護老人ホームで駒踊りを披露。施設入所者から大歓迎を受ける。
- 右:学区内の集会所を町内会と協力して、町内及び付近に在住する生徒が清掃ボランティアを行う。



り特別養護老人ホームでの駒踊り披露



町内会と協力した、地域の集会所での清掃ボランティア